

平成 26 年 4 月 9 日

各 位

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
代表者 代表取締役社長 伊藤 雅文
(コード番号 6255)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 廣澤 一夫
(TEL 03-5615-5069)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 10 月 9 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 26 年 8 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 9 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,443	419	286	38	1.73
今回修正予想(B)	16,025	401	382	50	2.29
増減額(B-A)	△1,418	△18	96	12	
増減率(%)	△8.1	△4.3	33.6	31.6	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 8 月期)	4,530	△1,573	△1,169	△2,282	△103.51

平成 26 年 8 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 25 年 9 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,297	408	275	378	17.16
今回修正予想(B)	15,825	324	259	410	18.63
増減額(B-A)	△1,472	△84	△16	32	
増減率(%)	△8.5	△20.6	△5.8	8.5	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 8 月期)	3,576	△1,052	△633	△3,405	△154.44

修正の理由

平成 26 年 8 月期通期の連結業績予想修正の理由は、以下のとおりであります。

売上高につきましては、国内の好調な太陽電池市場に後押しされ、太陽電池モジュールの受託加工事業では期初計画を上回る見込であります。しかしながら、太陽電池メーカーの設備投資の回復が遅れている影響により、太陽電池製造装置をはじめとする装置関連事業では受注が弱含み、全体の売上高は期初計画を下回る見込みであります。

一方で、受託加工事業における作業効率の向上及びロス率の低減や、装置関連事業における工場稼働率の向上及び製造経費の削減等の原価低減策が奏功することで、各事業の売上総利益率が期初計画を上回り、売上総利益額はおよそ期初計画どおりとなる見込であります。

以上のことから、売上高につきましては、前回発表予想より 1,418 百万円減少し、16,025 百万円となる見込みであります。営業利益につきましては、前回発表予想より 18 百万円の減少に留まり、401 百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、子会社の閉鎖費用を圧縮したことによる引当金の戻し入れや、税金の還付が発生すること等に伴う営業外収益が増加することで、前回発表予想より 96 百万円増加し、382 百万円となる見込みであります。一方で、特別損失である NPC-Meier 社に係る為替換算調整勘定取崩額は、円安の影響を受けて期初の見込より 133 百万円拡大し、483 百万円となりました。しかしながら、有形固定資産の売却益を特別利益として計上することにより、当期純利益につきましては、前回発表予想より 12 百万円増加し、50 百万円となる見込みであります。

平成 26 年 8 月期通期の個別業績予想修正の理由は、連結業績予想修正の理由と同様であり、売上高につきましては、前回発表予想より 1,472 百万円減少し、15,825 百万円となる見込みであります。営業利益につきましては、84 百万円減少し、324 百万円となる見込みであります。経常利益につきましては、上述の子会社の閉鎖費用圧縮による効果が影響しないため、16 百万円減少し、259 百万円となる見込みであります。当期純利益につきましては、上述の為替換算調整額の取崩の影響を受けないため、32 百万円増加し、410 百万円となる見込みであります。

(注) 上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上